

第1回議論を踏まえた論点整理

平成28年5月23日

事務局

(1) 関係者の理解力の向上や普及啓発の重要性

論点①

○各事業者による啓発活動については、水準の確保や効率的な展開等、関係者間の一層の協力を含む効率化が必要ではないか。

意見①

○啓発活動は既にながりの回数取り組まれており、今後は規模の増加よりも内容の改善を図るべきではないか。
○青少年自身が判断できるリテラシーを育てる取組が必要。わかりやすい実例で伝わる内容を具体的な教材として提供できるようにしなければならない。

更なる検討が必要と思われる事項

○啓発活動の効果向上にむけた具体的な改善策。特に、各事業者が提供する教材や周知手法の効率化に向けた方策。

論点②

○青少年のインターネット利用について、青少年自身のリテラシー向上のみならず、教える立場となる保護者や教育関係者のリテラシー向上についても、検討すべきではないか。

意見②

○保護者に関する論点は①フィルタリングの必要性の認識と、②フィルタリングの設定知識。①はリテラシーの向上で対応できると考えられるが、②について保護者に現状の設定方法を理解しろというのは無理ではないか。

更なる検討が必要と思われる事項

○情報モラルやフィルタリングの必要性についての保護者や教育関係者の理解を向上させるためにより効果的な方策。

(2) 利用者・事業者双方にとって使いやすいフィルタリングの実現

論点①

○設定の複雑化/長時間化や、使い勝手の悪さも、保護者がフィルタリングの設定を回避する理由のひとつとなっているのではないか。この場合、現在のフィルタリングの仕組みの変更を検討すべきではないか。

意見①

- フィルタリングに関して、契約時説明の際に拘束時間が長い、時間制約があるといった理由で、必要だが不要と断られることがある。
- 事業が垂直統合であったガラケーとは異なり、スマホは携帯事業者だけでできることに限界がある。十分な機能と使い勝手のよいフィルタリングを提供するために、キャリアとOS事業者の協力体制が必要。
- OS事業者のブラウザの閲覧制限や、アプリのペアレンタルコントロールなどは、一般的にグローバルに全て同じ基準で提供されているが、日本独自の取扱いについては可否の検討も含めて今後の課題。

更なる検討が必要と思われる事項

- 設定の長時間化・使い勝手の悪さに対応するために、端末機能に着目した具体的方策について考えられないか。
 - ・上記と併せて考慮すべき事項
 - フィルタリングの対象・水準に関する我が国独自の事情を反映するための方法・体制(論点②関連)

(2) 利用者・事業者双方にとって使いやすいフィルタリングの実現

論点②

- 青少年において、フィルタリングの必要性は認識されているものの利用率が低く、青少年の使用実態とフィルタリングの対象に乖離があるのであれば、フィルタリング対象の見直しを検討すべきではないか。

意見②

- EMAにおいては、個別サービスのレーティングやフィルタリングの適用状況が、当該サービスの中身や使用実態と整合しないと思われる場合には、OS事業者やフィルタリング事業者に情報提供を行っている。
- 中高生の使用実態や、保護者のフィルタリング解除理由を踏まえると、学齢に応じた適切なフィルタリング環境をつくる必要がある。その基準づくりが非常に重要ではないか。

更なる検討が必要と思われる事項

- 青少年の使用実態との乖離や、携帯事業者が提供しているフィルタリングの基準とOS事業者側で定めている基準間の差を解消するための適切な仕組み・体制。(論点(3)関連)
- 学齢に応じた適切なフィルタリング環境の在り方。

【参考】スマートフォン(新規販売端末)におけるフィルタリング設定の現状

		携帯回線 (LTE・3G)	無線LAN	アプリ
環境整備法 根拠条文		17条	—	
フィルタリング		ネットワーク型	キャリア提供 ブラウザ型	A: アプリによる利用制限 i: 本体機能制限設定
Android	docomo	①「SPモードフィルタ」 原則年齢確認時に店頭設定	③「ファミリーブラウザ」	②「あんしんモード」
	spモードフィルタ設定時に2アプリが自動インストール、店頭で2アプリ同時に有効化手動設定			
	KDDI	①「安心アクセス for Android」(ブラウザ・アプリ制限) プリインストールを、店頭で有効化手動設定		
	Softbank	①「スマホ安心サービス」 プリインストールを、店頭で有効化手動設定 ※ウェブ安心サービス(ウェブ利用制限(弱)プラス)も自動加入		
iPhone	docomo	①「SPモードフィルタ」 原則年齢確認時に店頭設定	③「ファミリーブラウザ」 店頭でダウンロード後、有効化手動設定 + Safariを機能制限	②「iPhone機能制限」 店頭で手動設定 ※OS事業者提供基準
	KDDI	①「安心アクセス for iOS」(ブラウザ制限) 店頭でダウンロード後、有効化手動設定 + Safariを機能制限		
	Softbank	①「ウェブ安心サービス」 原則年齢確認時に店頭設定	③「Yahoo!あんしんネット」 店頭でダウンロード後、有効化手動設定 + safariを機能制限	②「iPhone機能制限」 店頭で手動設定 ※OS事業者提供基準
MVNO	Android	フィルタリングについてはアプリ型で提供が7社、ネットワーク型で提供が1社、提供なしが3社。 (2016年3月にテレコムサービス協会MVNO委員会が加盟11社に対し実施したアンケート結果。提供なしの中には音声通 信役務を提供していない 会社も含まれる。)		

<課題>

・青少年のニーズ
との齟齬(使い
勝手・フィルタリ
ング対象)

・設定の長時間化
への対応

・MVNOの対応

【参考】フィルタリングの基準

携帯事業者の提供するフィルタリング

- フィルタリング事業者が分類したカテゴリごとに制限するブラックリスト方式を前提とし、第三者機関により認定された個別サイトが反映されることにより、閲覧制限の対象を最小限に止める仕組み。

個々のサイト・アプリを
フィルタリング事業者が
カテゴリ別に分類

閲覧不可のサイト・アプリも
下記の場合は閲覧可能

アプリ提供者が
第三者機関※による認定
を受けたサイト・アプリ

(青少年が安全安心に利用できるため、個人間通信モニタリング等必要な措置を講じているサイト等を認定)

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ
審査・運用監視機構(EMA)等

(保護者の同意の下で)
利用者が個別に
カスタマイズ機能を
用いて閲覧可能とした
サイト・アプリ

閲覧可能

端末の機能を使用したフィルタリング

- OS事業者が定めた基準により、サイトの閲覧制限や、アプリの使用制限を行う仕組み。

■ サイトの閲覧制限

・アダルトコンテンツ規制

OS事業者の定めた基準を元に、Webサイトへのアクセスを制限。

※制限対象のWebサイトの中でも別途閲覧許可設定をすることが可能。また、制限対象に入らないサイトについても別途閲覧禁止設定をすることが可能。

・指定したWebサイトのみ閲覧許可 (ホワイトリスト方式)

ユーザーが設定したWebサイトのみ閲覧可能とする。



■ アプリの使用制限

・成長度合(年齢)に応じて、「4+」、「9+」、「12+」、「17+」と段階ごとにすべてのアプリ进行分类。

レート	内容
4+	4歳の子が見ても大丈夫)
9+	9歳以下の子どもに不適切)
12+	12歳以下の子どもに不適切)
17+	17歳以下の子どもに不適切)



閲覧不可

閲覧可能

【参考】学齢別フィルタリングサービスの現状

		携帯回線 (LTE・3G)	無線LAN	アプリ
Android	docomo	<p>■カスタマイズ可能 個別URL、カテゴリ毎に許可設定可能</p>	<p>■学齢別設定あり(個別カスタマイズも可能)</p> <p>①高校生: 出会い、アダルト、大人向けSNS・ブログ等は× ②中学生: ①のほか、利用に知識、経験、判断力が必要なもの、購入制限無のものは×【初期値】 ③小学生: ②のほか、課金可能なもの、時間浪費が心配なマンガ・ゲーム等の娯楽は×</p>	
	KDDI	<p>■学齢別設定あり(個別カスタマイズも可能)</p> <p>①高校生: 出会い、アダルト、大人向けSNS・ブログ等は× ②中学生: ①のほか、利用に知識、経験、判断力が必要なもの、購入制限無のサイト・アプリは× ③小学生: ②のほか、課金可能なもの、時間浪費が心配なマンガ・ゲーム等の娯楽は×</p>		
	Softbank	<p>■学齢別設定あり(個別カスタマイズも可能) ※カテゴリ内の小分類で一部フィルタリングがかからないものもあり</p> <p>①高校生: アダルト、犯罪・暴力、コミュニケーション、不正IT技術、金融・経済、ギャンブル、アルコール・タバコ、情報サービス、ツール、主張、迷惑行為等を含むものは× ②中学生: ①のほか、エンターテインメント、ショッピング、ゲーム等は× ③小学生: ①②より強いフィルタリング(カテゴリ内の小分類でさらに制限あり)</p>		
iPhone	docomo	※Androidと同様	※Androidと同様	<p>■カスタマイズ可能 ・ムービーのみ各国別レイティングあり</p>
	KDDI	※Androidと同様		<p>■カスタマイズ可能 ・ムービーのみ各国別レイティングあり</p>
	Softbank	<p>■学齢別設定あり</p> <p>①ウェブ利用制限(弱)プラス(高校生) : 不法、薬物、自殺、出会い、暴力・恐怖、ポルノ、裏情報、セキュリティ、翻訳・キャッシュ、コミュニケーション、ギャンブル・宝くじ、飲酒・喫煙は× 一部SNS(Twitter・Facebook等)は○ ②ウェブ利用制限(弱)(高校生) : ①と同等※SNSはすべてかかる。 ③ウェブ利用制限(中学生) : ②のほか、成人娯楽、主張等が含まれるものは× ④Yahoo!きっず(小学生) : Yahoo!きっず内のコンテンツ、災害用伝言板以外は×</p>	<p>■学齢別設定あり</p> <p>①高校生+EMA認定 : 有害・不適切サイト(ポルノ、出会い、SNS等)のうち、EMA認定なきものは× ②高校生 : 有害・不適切サイト(①に同じ)は× ③中学生 : ②のほか、ウェブメール、掲示板、ウェブチャットは× ④小学生 : ③のほか、ブログ、ショッピングは× ⑤Yahoo!きっず : スタッフ推奨サイト以外は×</p>	<p>■カスタマイズ可能 ・ムービーのみ各国別レイティングあり</p>

(3) 青少年のインターネット利用環境整備のための体制の整備

論点

○課題(1)、(2)に対し、今後関係者がどのような役割を果たし、どのような体制を確立していくべきなのか。

意見

○OEMA認定以外のサービスについて評価・情報提供を行うためには、社会あるいは関係者全体による体制構築が必要。

更なる検討が必要と思われる事項

- フィルタリングや普及啓発に関わる団体の役割の整理と効率的な体制の検討。
- 携帯電話事業者、製造事業者、OS事業者等の関係者が今後取り組むべきこと。

<その他>

意見

- フィルタリングを「有害情報アクセス制限」ではなく、スマホ時代に適した表現に変えられないか。
- 自分の携帯電話を持たない低年齢の子供たちへの対応策として、キッズモードとして切り替えられるような機能はできないか。